

船舶運航事業者における津波避難マニュアル作成の手引きについて

【本手引きについて】

- 船長が津波避難行動を判断するために必要な情報をその入手先とともに網羅。
- 本手引きを参考に、個船ごとの津波避難マニュアルの作成及び訓練等を行うことが可能。

【本手引きで把握可能な事項】

- ✓ 東南海・南海地震、南海トラフ巨大地震等を想定した港湾等における津波襲来時間、津波の最大流速・流向、最大水位低下等
- ✓ 港湾から避難する際に考慮すべき避難海域
- ✓ 港湾法で指定された津波襲来後に優先的に航路啓開が実施される三大湾の緊急確保航路

等

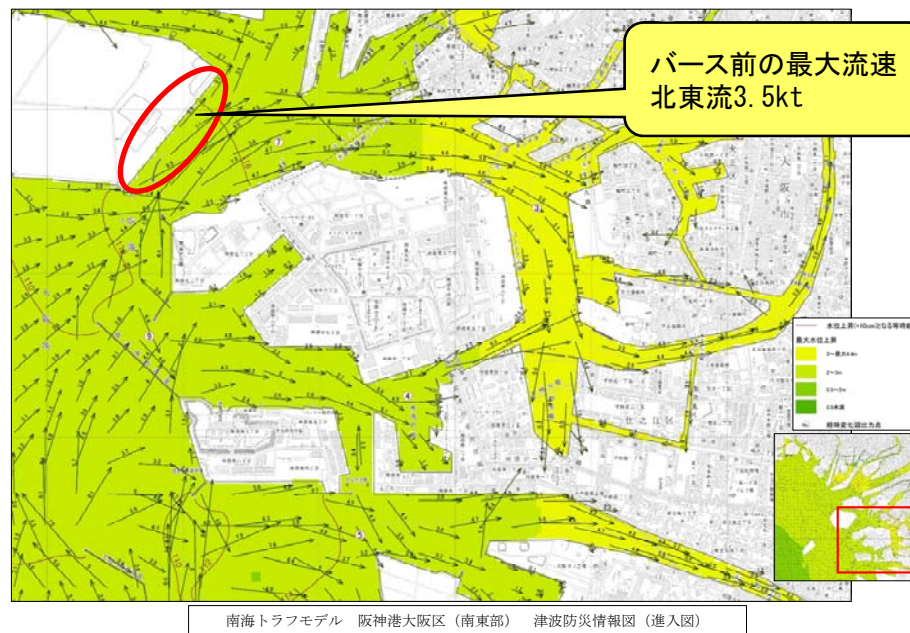
また、津波来襲時の係留索の破断可能性の簡易評価手法や津波避難行動判断フロー等について、海難防止協会等の検討結果も併せて収録。

<津波防災情報図>

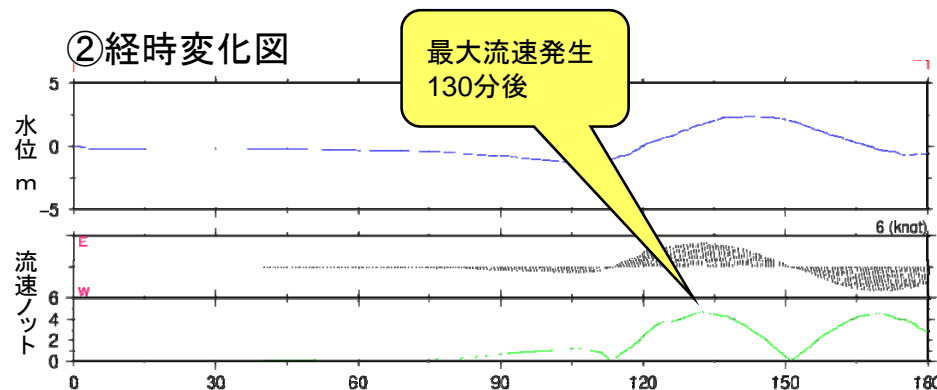
阪神港大阪区夢洲コンテナバース
南海トラフ巨大地震発生の場合の例

地震発生後130分に、最大流速北東3.5ktの波が生じる想定

①進入図



②経時変化図



(出典:第五管区海上保安本部海洋情報部資料)